

一中だより

学校教育目標「学び 磨き 鍛える」

目指す生徒像「人間として優れ 学力体力に勝る」

目指す学校像「時を守り 場を清め 礼を正し

笑顔・感動・高き志のある元気な学校」

〒368-0012

秩父市滝の上町9番22号

秩父市立秩父第一中学校

TEL 0494-22-1142

E-mail dai1chu@chichibu-stm.ed.jp

令和4年5月9日(月)

5月号 NO. 2



望ましい「習慣」を身に付けるためには

校長 井上 淳一郎

新年度がスタートし、早くも1か月が経過しました。新しい学年のスタートにあたり、生徒が前向きに、そして意欲的に頑張ろうとしている姿を私自身、目にする機会が多く大変嬉しく思っております。3年生は、授業での集中が素晴らしく「学校の顔」としての自覚を感じます。2年生は、明るく元気があり、特に部活動への熱心さを感じます。1年生は、無言・膝つき清掃への取組が大変素晴らしく、他にも小学校で学んできたことを場を変えてもできていることに感心します。

年度の変わり目は「自分を変えるチャンスである」と言われます。多くの生徒がこの機会をしっかり捉えて努力しているように見えます。せっかくよいスタートが切れたので、今後も生徒には続けていってほしいと考えていますが、そうすることで「よい習慣を身に付ける」ということに繋がるからです。

「習慣」とは、長い間、繰り返し行われていて、そうすることが決まりのようになっていることです。人間は「95%を習慣で生きている」とも言われます。習慣は身に付けてしまえば、一生涯、無意識に使える便利なものです。しかし、よい習慣ほど努力しないと身に付きません。よい習慣を身に付けるには、いったんやり始めたことを継続していくことが重要です。1か月続けると、かなり習慣化されるとの研究結果もあるようです。本校では「時を守り、場を清め、礼を正す」ことを目指す学校像の中に掲げ、生徒、そして教職員で取り組んでいます。今年度は1学期、特に「先にあいさつする」ことに重点を置き、一中伝統のあいさつに磨きをかけていきたいと考えています。1か月続けられれば、学校としてかなり習慣化させられると考えています。あいさつが響く学校は「さわやかで元気のある学校」です。新学期のスタートという節目に、一中生全員がよい習慣を身に付ける努力を続けていけるようにしたいと思います。